

平成29年度事業計画

I. 基本方針

1. お客様の信頼をより強固にするため、「安全は輸送業務の最大の使命である」を基本に、「安全の維持・確保」を図ります。
2. 北陸新幹線開業により増加している国内外からの新たなお客様にアピールできるよう「高質な運行サービスの提供」及び「更なるイメージアップ」を図ります。
3. 平成32年頃の開業を目指している富山ライトレールの富山駅高架下乗り入れにおいて富山市と連携するとともに、市内電車との相互乗り入れに向けて関係者と協議・検討を進めます。
4. 永続的かつ健全な経営のため「収益力の強化」を図るとともに、経営の合理化や効率化を一層推進し、国等の補助制度を積極的に活用するなど、より強固な経営基盤の確立を図ります。
5. 地域に密着した公共交通機関、日常の足としてこれまで以上に親しまれるよう、各種の取り組みを継続し魅力ある鉄道を目指します。

II. 主な具体的施策

1. 安全の維持確保

(1) 鉄軌道施設の整備

①踏切保安設備の整備

老朽化した踏切遮断機等の更新を実施し、確実な動作を確保することで踏切事故を防止し、列車の安全・安定運行の確保を図ります。

②車両重要部検査の実施

604号車（黄緑色）・605号車（緑色）について車両の重要部検査として車体と台車を切り離し、モーターやブレーキ、車輪などを取り外して整備いたします。

③計画的な橋梁補修対策の実施

平成28年度に橋梁の健全化を図るため調査をおこなったところ、すべての橋梁について何らかの対応を行うべきと判断されたことから平成29年度は2箇所（橋梁）について補修方法の検討や設計等を行います。

④橋梁枕木の交換

経年の劣化により取替えが必要な木製枕木（JRから引継いだもの）の交

換を行います。

⑤ 損傷したレールの交換

レールの疲労による損傷が見られる箇所があり、放置すると亀裂が入り重大な事故につながる恐れがあることからレール交換を実施いたします。5箇所、延長で197mを交換いたします。

⑥ 変電所施設老朽化対策の実施

城川原指令所から変電所を遠隔監視制御する装置に不具合が発生したことから指令所及び城川原変電所、奥田変電所で連動している機器の更新を行います。

(2) 安全体制の確立

① 安全管理規程の徹底

輸送の安全に関する体制強化に向け「安全管理会議」を定期的で開催するとともに、運転士との意見交換会や研修会を随時開催し、全社員の安全規律の徹底と意識の高揚に努めます。

② 事故防止施策の推進

事故防止の観点から、踏切保安装置や信号連動装置など安全に係る設備の設置・改良や既存設備の総点検、踏切事故防止キャンペーンを実施し、事故の未然防止を図ります。

③ 事故・災害対策の確立

事故や災害発生時の緊急体制が円滑に機能するようマニュアル類を再点検すると同時に、起こり得る事態を想定した実践的な訓練を実施し、関係機関との連携や危機管理体制の強化を図ります。

④ 冬期間の安定輸送確保

気象情報の早期把握と迅速な除雪手配を行うとともに、軌道除雪車の運行訓練の実施、分岐器の不具合等の線路障害防止のための巡回点検を実施するなど、冬期間の安定輸送確保に努めます。

⑤ 落雷等の事故対策の実施

落雷等自然災害や踏切事故による運転支障を無くすため、機材の点検・予備部品の確保に努めます。

⑥ 鉄道敷地の管理

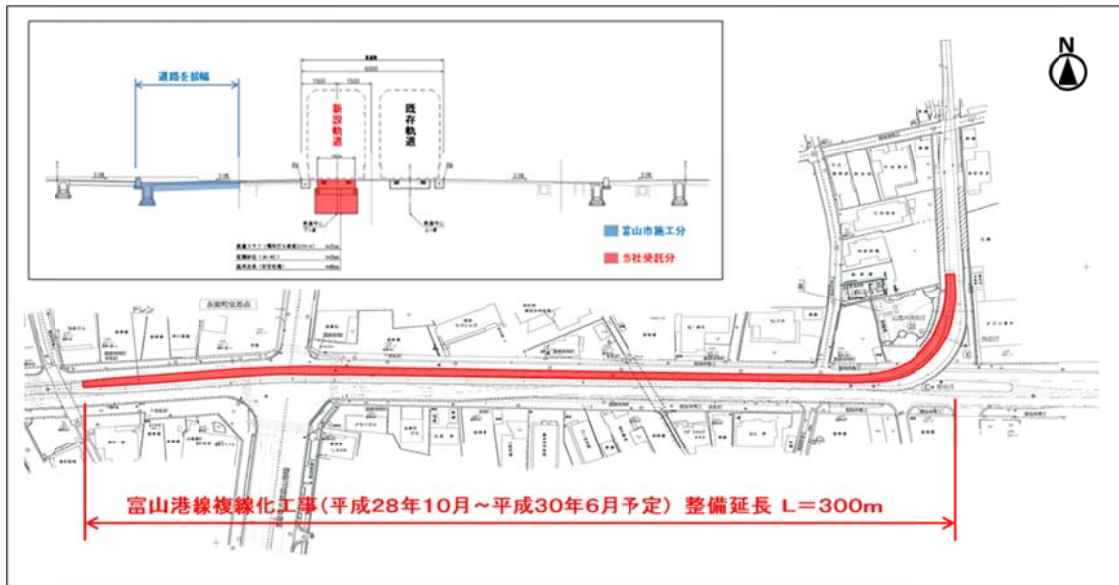
越中中島駅そばの粟島踏切北側において鉄道敷地に並行した私道があり、道路幅が狭く電車通過時は大変危険な箇所となっております。小学生の通学路としても使用されていることから安全のため鉄道敷地の境界に防護柵

を設置いたします。

2. 高質な運行サービスの提供

(1) 軌道区間の一部複線化工事

永楽町地区いたち川の八田橋東側から奥田中学校前停留場までの約300mの軌道の複線化工事を実施いたします。このことで朝のラッシュ時の遅延の少ない円滑な運行を目指します。



(2) 監視カメラの設置

ポートルムとフィーダーバスとの接続確認のほか乗客の安全確保、危険の感知、事故等への速やかな対応、犯罪及び悪戯行為抑止のため、岩瀬浜駅に城川原の指令室から常時映像の確認ができる監視カメラを設置いたします。

3. 更なるイメージアップ

(1) ポートルムアテンダントの乗務

ポートルムアテンダントを配置し、車内でのアナウンスや観光案内及び高齢者・障害者の乗降補助などを行い、ポートルムの魅力向上に努めます。

(2) ラッピング電車の運行

季節に応じたポートルムらしいラッピング電車を運行することにより、街の景観向上を図るとともに、利用促進に繋がります。

(3) 接遇の向上

運転士の接遇態度が当社のイメージを大きく左右することから、乗務員研修などを通じて、接遇の向上を図ります。

(4) 沿線緑化の維持・管理

沿線の景観向上のため、線路沿いに植栽したあじさい等のほか、下奥井駅前花壇や越中中島駅のフラワーポット等を沿線の皆様、企業等の協力を得て、1年を通じて維持・管理いたします。

(5) 良好な企業イメージの醸成

富山ライトレールに対する理解の浸透を図るため、新聞やテレビ、雑誌、インターネット等の媒体を活用した広報活動を積極的に展開し、皆様から親しまれる交通機関となるよう努めます。

4. 収益力の強化

(1) 業務運営の効率化

従来からの契約や委託内容を見直し、業務の適正化・合理化に取り組みます。

(2) 経費の節減

新工法や新しい技術の情報収集を積極的に行い、国等の補助制度を積極的に活用いたします。

(3) ICカード「パスカ」の利用促進

ICカード「パスカ」の更なる利用者の増加を図るための広報を展開するとともに、富山地方鉄道㈱のICカード「えこまいか」との相互利用を積極的に推進いたします。

(4) フィーダーバスの運行

フィーダーバスの利用率の向上のため、沿線の自治振興会等と連携して利用促進を図るとともに、適正な運営コスト・サービス水準となるよう努めます。

(5) 臨時列車の運行

年末年始や沿線の行事に合わせて臨時列車の運行や終電時間の延長を実施するなど、お客様のニーズに合った柔軟な運行を行うことにより利便性の向

上を図ります。

(6) 貸切電車の運行

イベントなどでお洒落な移動手段や車内での結婚式などに、ポートラムを活用していただけるよう事業者等にPRいたします。

(7) 広告収入の確保

駅構内広告や液晶画面による車内広告などに空きが生じないよう努め、収入の確保を図ります。

(8) グッズ収入の確保

売れ筋の新商品の企画開発を進めるとともに、既存商品の中でも利益性の低い商品の見直しを行います。また、各種イベントや祭りなどの出張販売に出向き販売の強化を図ります。

5. その他

(1) 視察者・観光客の積極的受け入れ

国、地方自治体等の行政関係者のほか議会関係者、大学等研究機関など県内外からの視察者を積極的に受け入れるほか、外国人宿泊者や県外からの旅行者のための富山市の各種優待制度を活用し、新規観光客の誘致や受け入れを積極的に推進いたします。

(2) 旅行業者との連携

旅行代理店、JR各社や富岩水上ラインなどとの連携で、周遊のための手段としてポートラムを利用してもらうなど利用促進を図ります。

(3) 乗車マナーの向上啓発

乗車マナー向上に向け、列車内における座席の譲り合いや携帯電話の使用などについてのアナウンス等の取組みや、子供向け乗車マナーカードの配布を引き続き実施し、車内環境の快適化に努めます。

(4) パスカ協賛店の拡大

中心市街地への乗り入れを見据え、富山地方鉄道(株)と連携し「パスカでお得」「えこまいかでお得」としてパスカ提示によるお得なサービスがある協賛店エリアを市内電車沿線などにも拡大いたします。